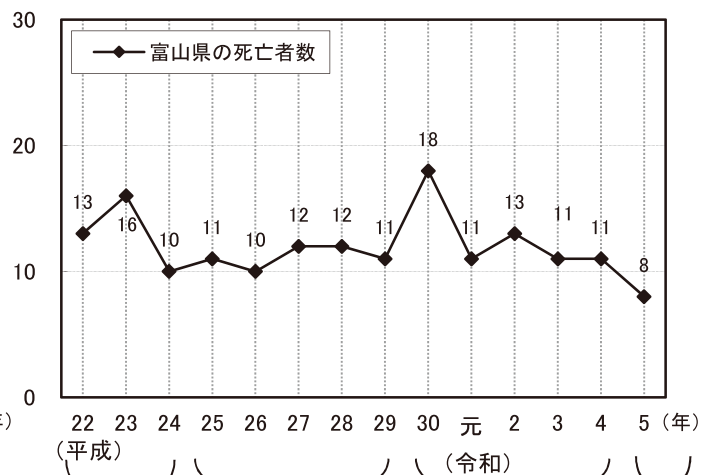
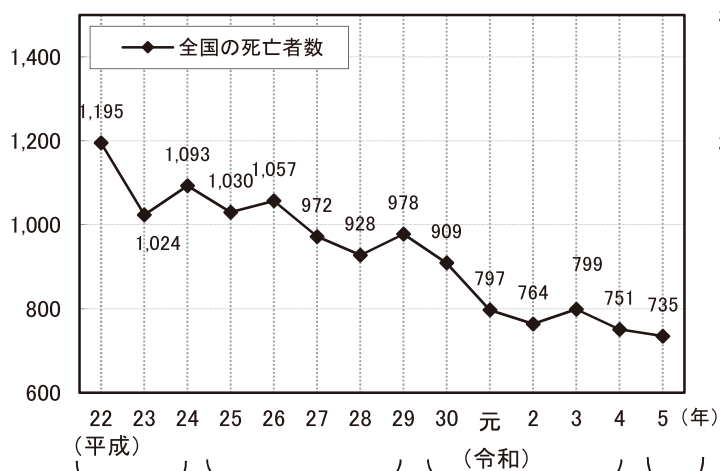
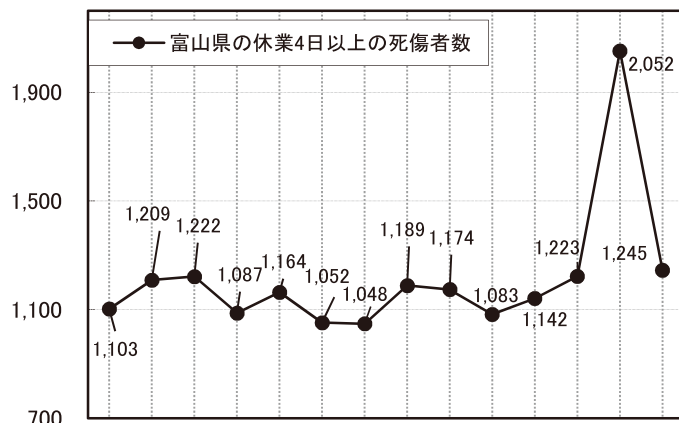
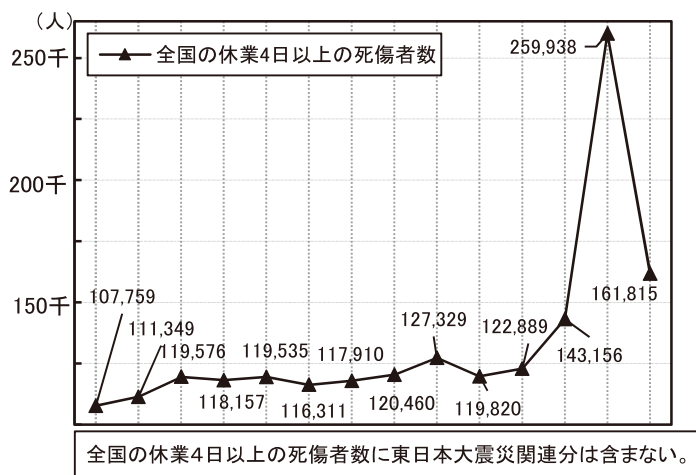


# 令和5年 労働災害の現状

## 第1 労働災害発生状況の推移

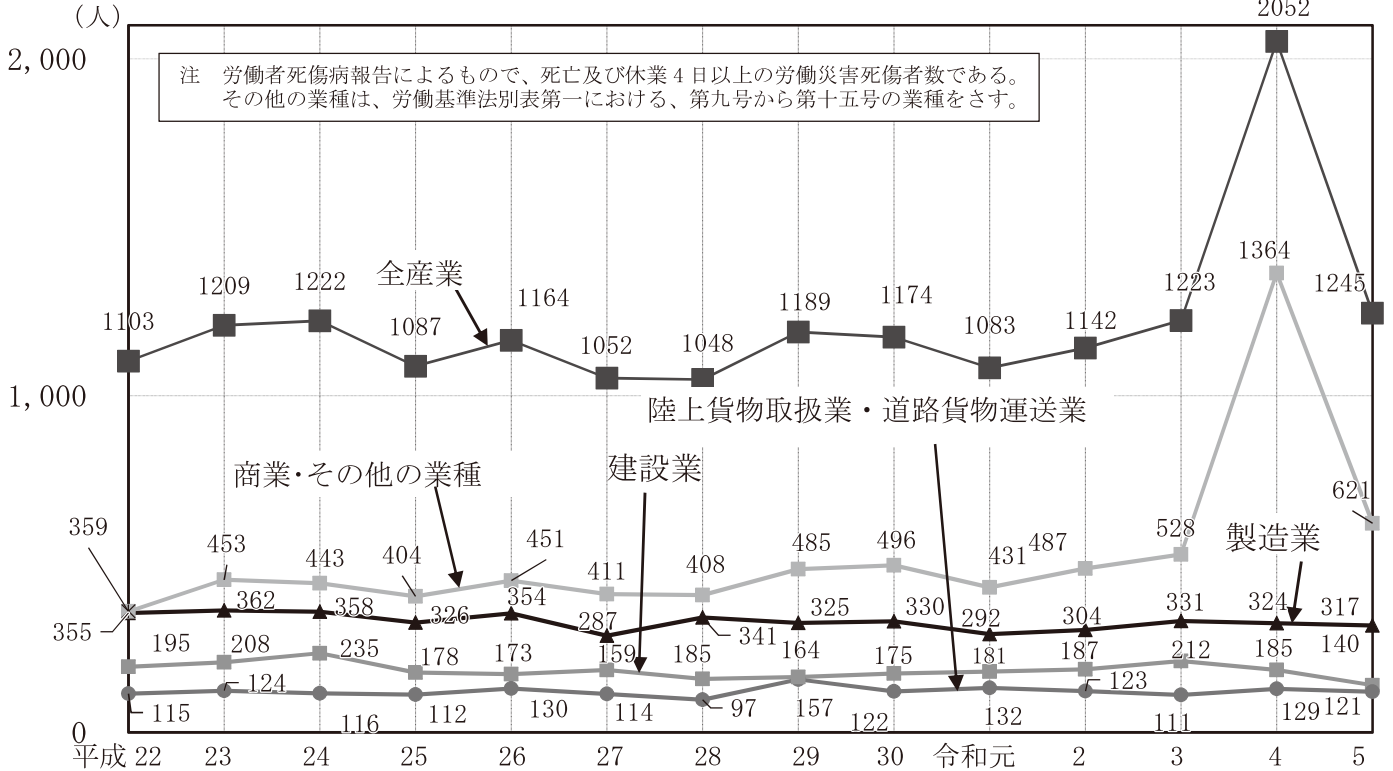


第11次労働災害防止計画期間  
第12次労働災害防止計画期間  
第13次労働災害防止計画期間  
第14次労働災害防止計画期間

第11次労働災害防止計画期間  
第12次労働災害防止計画期間  
第13次労働災害防止計画期間  
第14次労働災害防止計画期間

令和6年3月  
富山労働局

## 第2 業種別労働災害死傷者数の推移



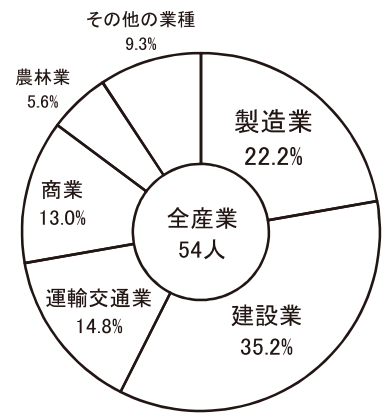
## 第3 死亡災害発生状況（令和元年～令和5年）

最近5年間の労働災害死亡者数は以下のとおりであり、業種別では製造業 22.2%、建設業 35.2%、運輸交通業 14.8%などとなっている。

(人)

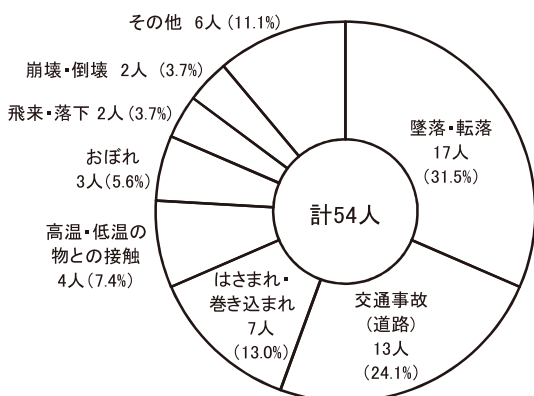
業種	年	(令和)元年	2年	3年	4年	5年	計
製造業	5	4	1	1	1	1	12
鉱業							
建設業	4	3	5	5	2	19	
運輸交通業	1		2	3	2	8	
農林業		2			1	3	
畜産・水産業		1				1	2
商業	1	2	2	1	1	7	
保健衛生業							
接客娯楽業				1		1	2
清掃・と畜業		1					1
その他の事業							
計		11	13	11	11	8	54

業種別 死亡災害発生状況

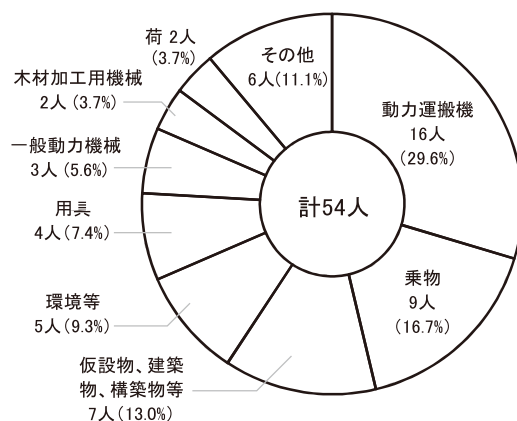


事故の型でみると、墜落・転落による死亡者数が17人と最も多く、次いで、交通事故（道路）が13人、はさまれ・巻き込まれが7人の順になっている。また、起因物別でみると、動力運搬機によるものが16人と最も多く、次いで乗物が9人となっている。

事故の型別 死亡災害発生状況



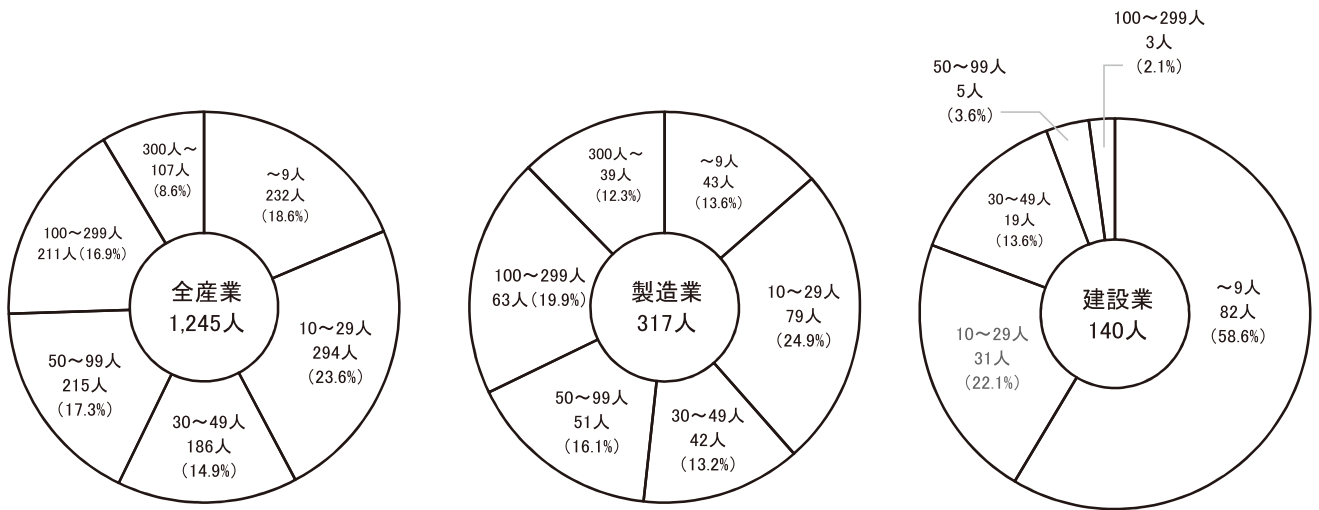
起因物別 死亡災害発生状況





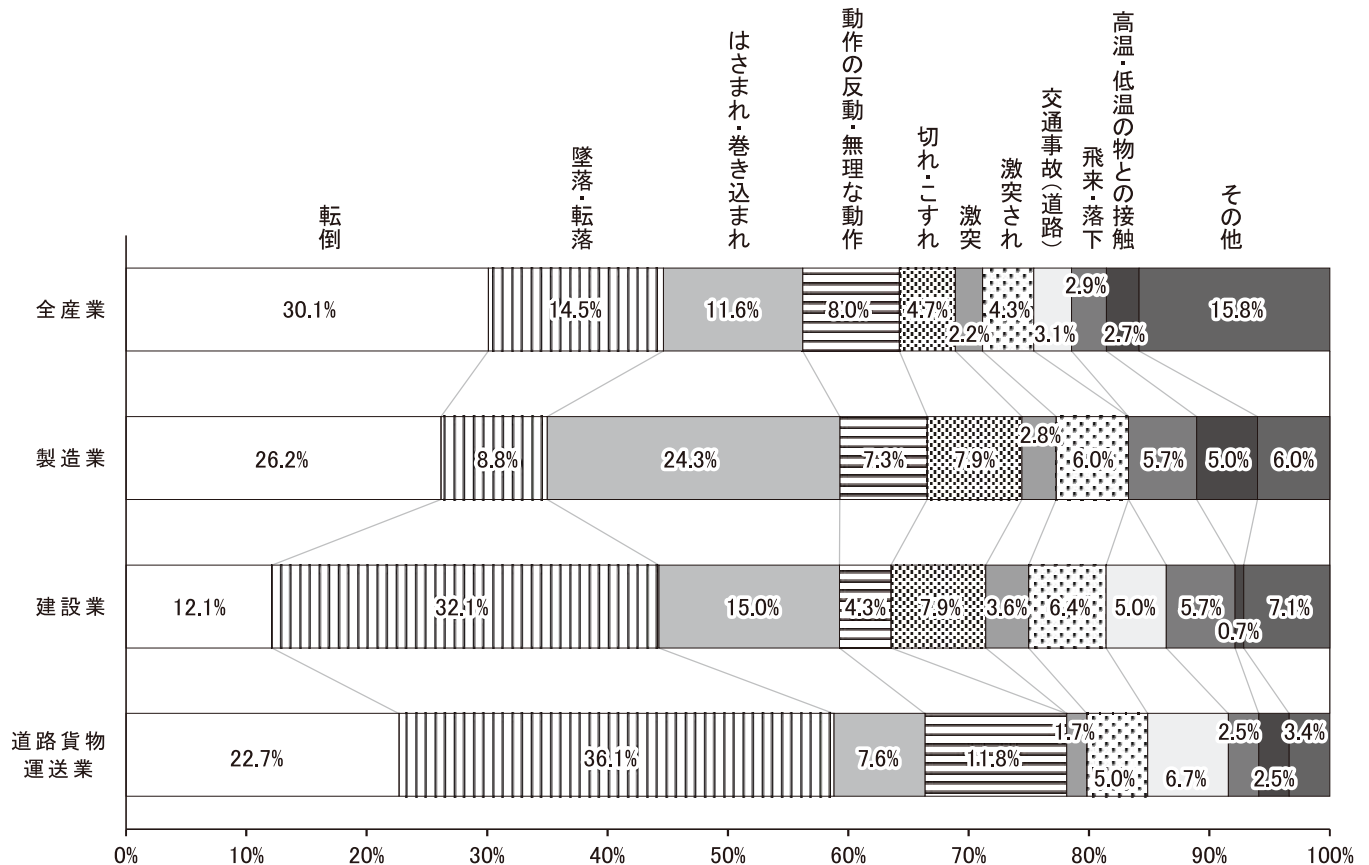
## 第5 事業場規模別 労働災害発生状況（令和5年）

全産業の休業4日以上の労働災害のうち、74.4%が労働者数100人未満の事業場において発生し、また、57.1%が労働者数50人未満の事業場において発生している。業種別にみると、製造業では51.7%、建設業では94.3%が労働者数50人未満の事業場において発生している。



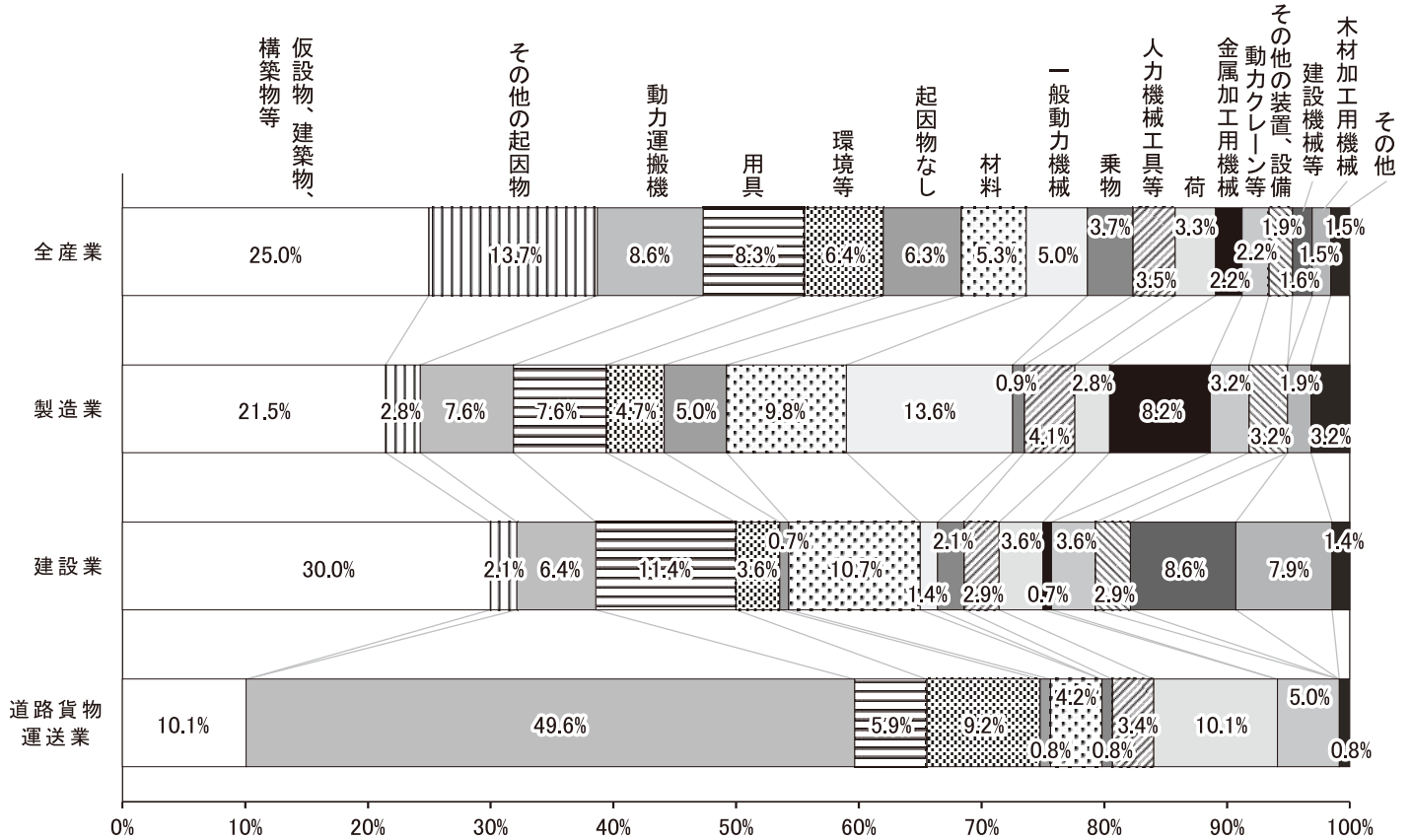
## 第6 事故の型別 労働災害発生状況（令和5年）

全産業における休業4日以上の労働災害を事故の型別にみると、転倒が30.1%と最も多く、次いで墜落・転落が14.5%、はさまれ・巻き込まれの11.6%と多くなっている。業種別にみると、製造業では、転倒が最も多く26.2%、建設業と道路貨物運送業では、墜落・転落が最も多く、それぞれ32.1%、36.1%となっている。



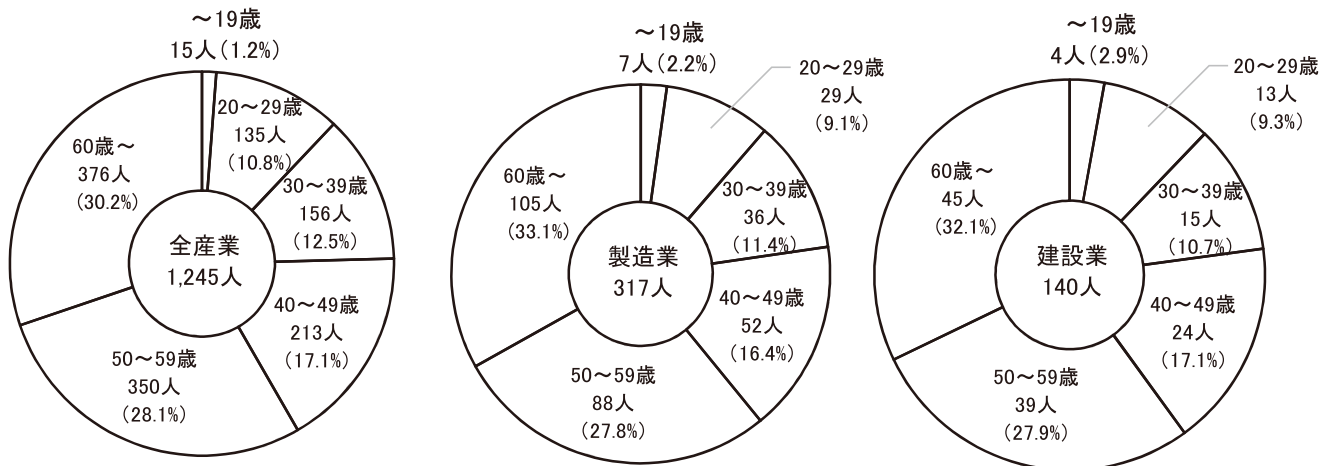
## 第7 起因物別 労働災害発生状況（令和5年）

全産業の休業4日以上の労働災害を起因物別にみると、仮設物、建築物、構築物等が最も多く25.0%で、次いでその他の起因物が13.7%、動力運搬機が8.6%となっている。業種別に見ると、製造業と建設業では仮設物、建築物、構築物等が最も多く、それぞれ21.5%、30.0%となっており、道路貨物運送業では、動力運搬機が49.6%と最も多い。

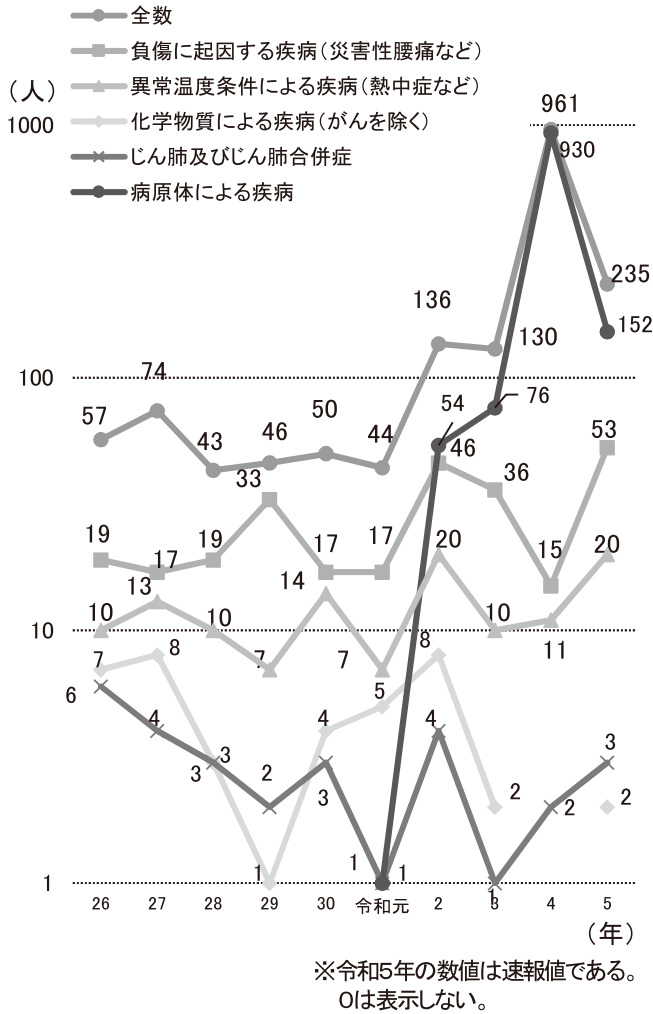


## 第8 年齢別 労働災害発生状況（令和5年）

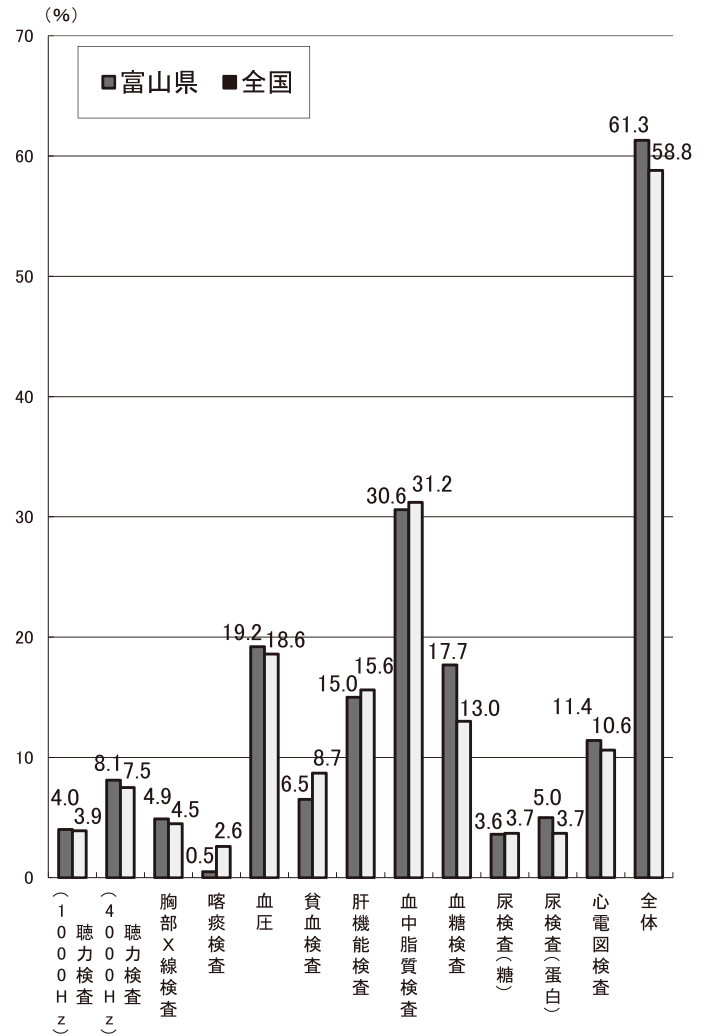
全産業の休業4日以上の労働災害死傷者を年齢別にみると、60歳以上が30.2%と最も多く、次いで50～59歳が28.1%となっており、50代以上の死傷者が全数の58.3%を占めている。



### 第9 富山県における業務上疾病の推移



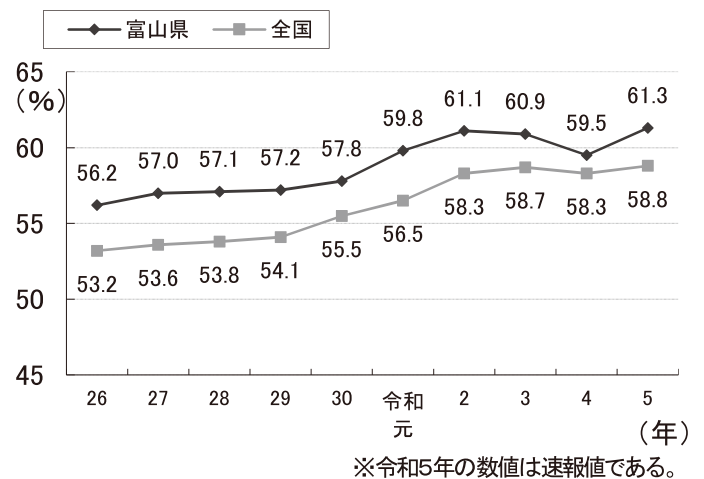
### 第11 令和5年 定期健康診断の項目別有所見率(速報値)



### 第10 令和5年 業務上疾病発生状況(速報値)

業務上疾病	罹患者数	割合
負傷に起因する疾病 (災害性腰痛など)	53人	22.6%
異常温度条件による疾病 (熱中症など)	20人	8.5%
化学物質による疾病 (がんを除く)	2人	0.8%
じん肺症及びじん肺合併症	2人	0.8%
病原体による疾病	152人	64.7%
その他の疾病	6人	2.6%

### 第12 定期健康診断の有所見率の推移



### 第13 令和4年 特殊健康診断実施状況

種類	実施事業場数	受診労働者数	有所見率
有機溶剤	632	11,637	2.8%
特定化学物質	647	18,744	1.9%
電離放射線	131	2,347	22.9%
鉛	36	346	0.6%
じん肺	404	5,002	0.1%

延べ人数

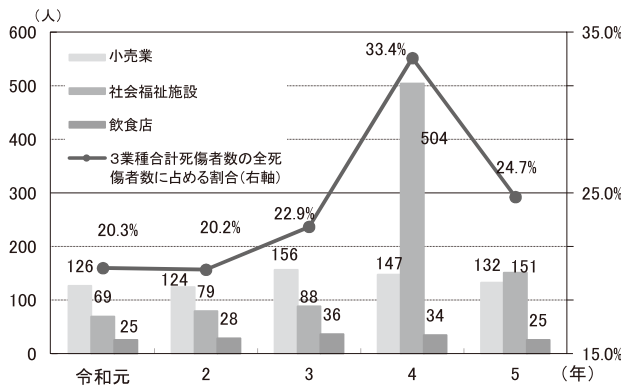
# 第14 死亡災害一覧（令和5年）

富山労働局

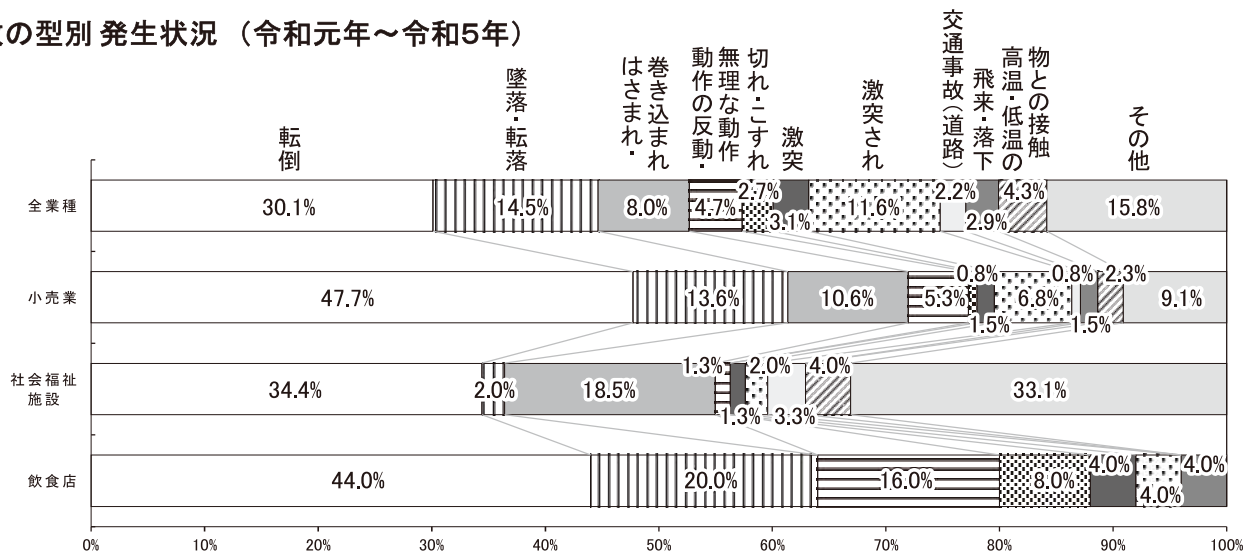
番号	発生日	業種	起因物	事故の型	年代	経験年数	災害発生状況
1	1月	医薬品製造業	化学設備	高温・低温の物との接触	40歳代	6ヶ月	原材料を一斗缶でタンクに投入する作業を行っていた労働者が、投入口から一斗缶と共に、上半身がタンク内に入った状態で発見された。
2	2月	上下水道工事	トラック	交通事故（道路）	40歳代	28年	市道の交差点付近で消雪装置工事を行っていたところ、交差点を左折してきたトラックにはねられた。
3	3月	その他の卸売業	フォークリフト	交通事故（道路）	70歳代	25年	フォークリフトを使用し市場内の取引先へ商品を納品後、営業所に戻るため市場と隣接する私道を走行中、緩い右カーブでハンドル操作を誤り、右側道路脇の田んぼにフォークリフトごと転落した。
4	4月	鉄道・軌道業	鉄道車両	交通事故（その他）	10歳代	1年	鉄道用鉄橋付近にある鉄道軌道内でのバラスト補充作業を行っていたところ、進入してきた列車にはねられた。
5	6月	道路貨物運送業	トラック	交通事故（道路）	50歳代	20年	東海北陸自動車の片側1車線の対面通行区間を南に向かって大型トラックを運転していた際に、対向車線を走っていた中型トラックが同自動車道の中央線（センターポールにて区画）を乗り越えてきて大型トラックと正面衝突した。
6	9月	飲食店	階段、棧橋	墜落、転落	50歳代	10年	客からの注文を受け、店の2階にある冷蔵庫に向き、食材を取り出し1階の調理場に向かうため階段を下りていた際に、同階段から転落した。
7	11月	水産業	その他の一般動力機械	はさまれ・巻き込まれ	50歳代	17年	氷見沖にて定置網漁を行うために、定置網に取り付けられたロープを巻き取るため被災者がVローラ（揚網気）を回転させ、同ロープを引き込んでいた。被災者が右手そして全身を同ローラに巻き込まれた。
8	11月	その他の建設業	足場	墜落、転落	20歳代	6ヶ月	外壁止水修理工事用の足場解体作業中に、被災者は手すりのない同足場の階段を降りていた。その際同人はバランスを崩し、高さ約12mの同階段から地表（アスファルト）に墜落した。

## 特集1 小売業・社会福祉施設における労働災害発生状況

### 死傷者数の推移（令和元年～令和5年）

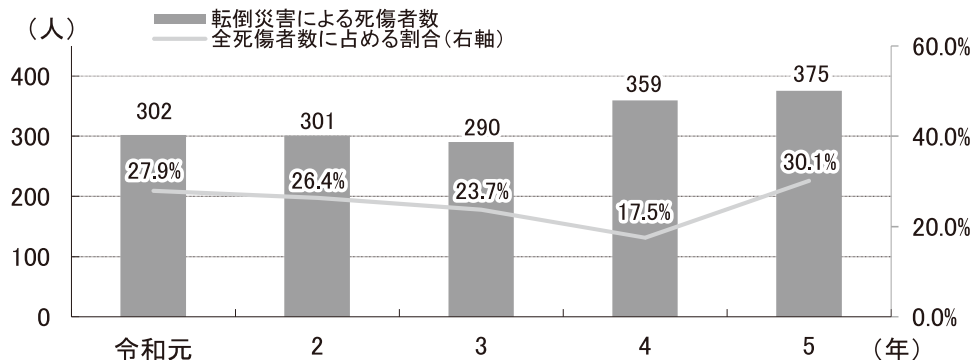


### 事故の型別発生状況（令和元年～令和5年）

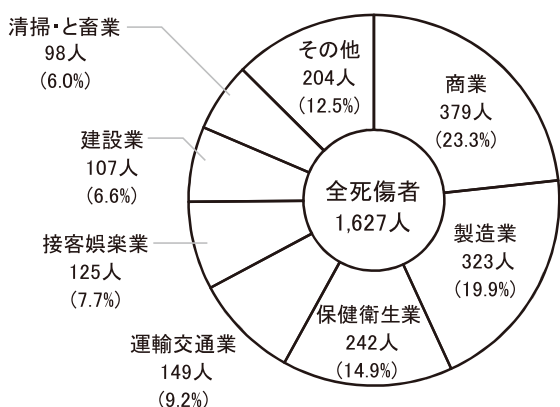


## 特集2 転倒による労働災害発生状況

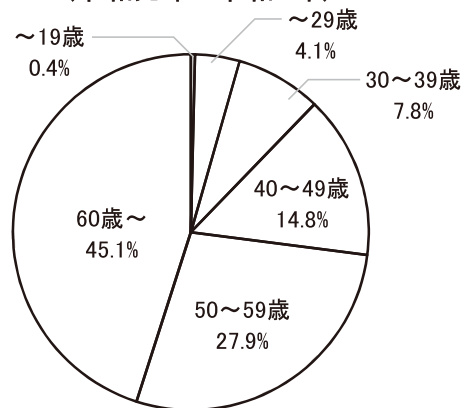
### 転倒災害による死傷者数の推移（令和元年～令和5年）



### 業種別 転倒災害発生状況（令和元年～令和5年）

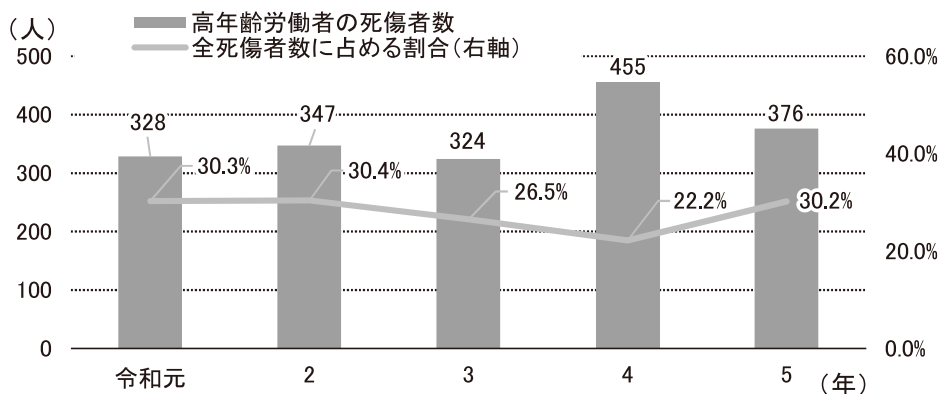


### 転倒災害死傷者の年齢別割合（令和元年～令和5年）

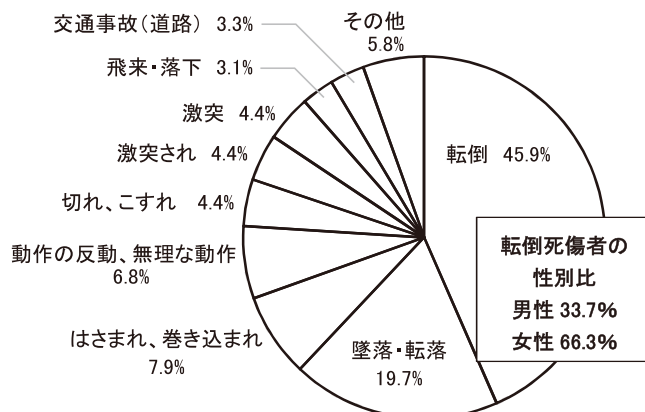


## 特集3 高齢労働者の労働災害発生状況

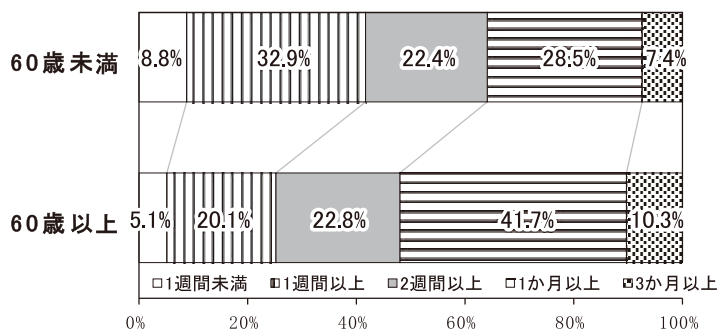
### 高齢である死傷者数の推移（令和元年～令和5年）



### 高齢である死傷者の事故の型別割合（令和元年～令和5年）



### 年代別の休業見込期間割合（令和元年～令和5年）



転倒死傷者の性別比  
男性 33.7%  
女性 66.3%